

平成 27 年 6 月 11 日

「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

川崎委員長

原田委員

中島委員

1. はじめに

北海道大学工学部環境社会工学科資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年（平成14年）8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に平成27年3月および4月に実施したアンケートの回答を集計した結果を、「別紙1」のとおり報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

学部2年生、3年生および4年生を対象としたアンケートは、別紙1に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施した。

アンケート実施要領

対 象	実施時期	備 考	
2 年生	平成 27 年 4 月 9 日	3 年生ガイ ダンスにて	実施日の時点では 3 年生であるが、2 年後期のカリ キュラムに関して問いかけているので 2 年生と表記
3 年生	平成 27 年 4 月 9 日	4 年生ガイダ ンスにて	実施日の時点では 4 年生であるが、3 年後期のカリ キュラムに関して問いかけているので 3 年生と表記
4 年生	平成 27 年 3 月 25 日	学位記授与 式時	

3. 集計・分析結果

別紙に各学年のアンケート集計結果を示す。以下では、教育システム改善委員会が行った分析結果を設問毎にまとめて示す。本年度の回答率は旧 2 年生が 31 名/36 名 (86.1%)、旧

3年生が40名/43名(93.0%),旧4年生が33名/37名(89.2%)であった。

設問1-(2)では「進路希望」について問うており、進路の決定していた旧4年生を除き、75%程度の学生が大学院進学を明確に希望している結果となった。これは例年と比べてやや低い割合となっており、学部の早い時期から大学院への進学を目指している学生が減少していることがわかる。

設問2では、当コースの学習・教育目標が適切かどうかをさまざまな観点から問うている。アンケート結果では、全ての学年において 90%以上の学生が学習・教育目標が本コースの特徴や社会の要請と合致していると回答している。少数意見としては、「授業数が少ない」「もう少し専門を増やしてほしい」など、学習・教育目標への意見ではなくカリキュラムに対する要望が多かった。

設問3-(1)~3-(4)は、「必要だと考える科目」についてさまざまな観点から問うたものであり、アンケート結果から、現在のカリキュラムで開講しているほぼ全ての科目が「将来役に立つ科目」「社会人の一般的素養として必要」とであると認められていることがわかる。また設問3-(5)は「あれば良いと思う科目」について問うており、旧2年生、3年生では「英語」「資源経済」「歴史・日本史」など具体的な要望があった。それに対して旧4年生(卒業生)のアンケート結果では、「製図」「数値計算の演習」など、各自の卒業研究に関連していると推察されるような要望が多かった。これは研究室へ配属後の学生の意識が何らかの形で変化したためであろうと考えられる。

設問3-(6)は、「すばらしかった科目」について問うており、件数の多い順から「流体力学演習」(16件)、「数値計算法」(6件)、「卒業論文」(5件)、「構造力学I」(5件)、「技術英語」(5件)という結果となった。個別のコメントとしては、「わかりやすかった」「よく理解できた」「先生の熱意が伝わった」「演習が多いのがよかった」「厳しく指導して頂いた」などであった。

設問3-(7)は、「内容に問題のある科目」について問うたものである。件数の多い順から「コンピューティング演習」(10件)、「微生物工学」(6件)、「環境物理」(5件)、「土の力学I」(5件)という結果となった。個別のコメントとしては、「説明がわかりづらい」「面白味がない」「先生の熱意が伝わった」「先生がうまく活用されていない」などであった。また設問3-(8)は「成績評価に問題がある科目」について問うたものであり、これについては指摘の特に多かった科目はなかった。少数意見としては、「評価の仕方が謎」「テストの形式に問題がある」などがあった。

設問3-(9)はカリキュラムに対する自由意見であり、小数意見ではあるが「授業を増やしてほしい」「技術英語を早い時期にしてほしい」などの要望があった。

設問4は、教育システムの改善方法や、当コースへの要望を自由に問うたものであり、「現場見学を増やしてほしい」「コースでの行事を増やしてほしい」「コースでもっと遊びたい」などの意見があった。

2015年(平成27年)3月25日

資源循環システムコース学生の皆様

資源循環システムコース コース長
川崎 了

教育システム改善のためのアンケート(平成26年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知らることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は? 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

- A: 学部2年 B: 学部3年 C: 学部4年 D: 大学院生
E: 社会人(技術系) F: 社会人(非技術系) G: その他

(2) あなた(学部学生, 大学院生)はどのような進路を考えていますか?

あなた(社会人)はどのようなお仕事に就かれていますか?

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

2. 学習・教育目標について

次の「学習・教育目標」について、下記(1)～(5)の質問にお答えください。

回答は回答欄の「はい」「いいえ」いずれか一方を○で囲んでください。

「いいえ」を選んだ方は、その理由を(理由:)欄に記入してください。

注: 抽象的な質問ばかりですが、考え込まず、感じるままに! Take it easy!

資源循環システムコースの学習・教育目標

- (A) 科学技術と社会・文化との関わりを知り、社会における技術者の責任・使命を認識する能力と素養を身に付ける。
- (B) 人間と自然との関わりを認識し、環境と調和した技術を考える能力と素養を身に付ける。
- (C) 専門分野を理解するために自然科学、数学、情報科学などに関する基礎的能力を身に付ける。
- (D) 技術の多様な展開に対応できる基本的な理解力と、他の分野にも視野を広げることができる素養を身に付ける。
- (E) 地圏の開発・防災、資源の開発・生産、資源循環・環境に関する総合的専門知識を身に付ける。
- (F) 問題の本質を理解した上で、自ら情報を収集・分析し、状況に応じた具体的な解決法と行動計画を策定する能力と素養を身に付ける。
- (G) 科学技術に対する知的好奇心を育み、主体的な学習意欲と技術に対するフロンティア精神を身に付ける。
- (H) 自分の考えや仕事の内容・成果を論理的に表現できる文章記述能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- (I) 国際的に通用するコミュニケーション能力と国際的な多様な価値観を理解できる素養を身に付ける。

- (1) 本コースの特徴(とあなたが考えるもの)が十分に反映されていますか?
- (2) 評価水準や講義の専門性・幅の広さ、教育ポリシーなどは社会の要請(とあなたが考えるもの)に対してほぼ適合していますか?
- (3) 本コースの学生の資質(知識レベルなど)に対して適切に設定されていますか?
- (4) 本コースの卒業生の進路(学生の方は希望進路)に照らし合わせて適切に設定されていますか?
- (5) その他、「学習・教育目標」に関してご意見があれば自由に述べてください。

<回答欄>

(1) はい いいえ (理由: _____)

(2) はい いいえ (理由: _____)

(3) はい いいえ (理由: _____)

(4) はい いいえ (理由: _____)

(5) _____

3. カリキュラムについて

下記(1)～(4)の質問に対する回答は、下のカリキュラム表に直接記入してください。
受講されていない科目もあるかと思いますが、(2)～(4)の質問に関しては一般的な見地から可能な限りお答えください。

- (1) 受講したことがある科目に ○ を付けてください。
- (2) 現在あるいは将来、あなたの専門・仕事に直接役立つと考えられる科目に ○ を付けてください。
- (3) 専門を問わず、技術者・研究者・社会人の一般的素養として必要だと考えられる科目に ○ を付けてください。
- (4) 現在のカリキュラムにある科目のうち、必ずしも必要とはいえないが選択肢として受講できるようにしておくことは妥当だと思える科目に ○ を付けてください。

学年	科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別	回答欄			
						(1)	(2)	(3)	(4)
2年	1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習				
2年	3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義				
2年	8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習				
2年	10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義				
2年	11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義				
3年	12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	13 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習				
3年	15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験				
3年	17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習				
3年	19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	20 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義				
3年	21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義				
3年	22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習				
4年	23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
4年	28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義				
2年	29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習				
2年	32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験				
2年	33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義				
2年	36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義				
2年	37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義				
2年	38 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義				
3年	39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義				
3年	42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義				
3年	44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験				
3年	46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習				
3年	47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義				
3年	48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義				
4年	49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	51 職業指導	4		4・Ⅱ					
4年	52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ					
4年	54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義				
4年	55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義				

- (5) 現在のカリキュラムにはないが、必要であろうと考えられる科目や学習内容（「こんなことを勉強したい」「世の中に出たときに役に立つのに、なぜないのか」というようなもの）があれば記入してください。一般的な見地から可能な限りお答えください。
-

下記(6)～(9)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、(6)～(8)の質問に関しては、次ページの表にある今年度後期(10～3月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、次ページのカリキュラム表内に記載されている番号です。

- (6) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的に」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (7) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらぬ」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (8) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (9) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。
-

科目番号・科目名		単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1	構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
2	応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義
3	熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習
4	資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験
5	資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義
6	資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義
7	エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義
8	応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義
9	物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義
10	土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義

4. 最後の質問です。

(1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

(2) その他、コース全般に対するご意見等（例えば、「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 コンピューティング演習	1	必修	3・II	演習
2 流体力学演習	1	必修	3・II	演習
3 地殻システム工学	2	必修	3・II	講義
4 微生物工学	2	選択	3・II	講義
5 地下水工学	2	必修	3・II	講義
6 火薬及び爆破工学	2	選択	3・II	講義
7 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・II	実験
8 技術英語	1	必修	3・II	演習
9 環境物理	2	選択	3・II	講義
10 数値計算法	2	必修	3・II	講義

4. 最後の質問です。

(1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

(2) その他、コース全般に対するご意見等（例えば、「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 環境工学概論	2	選択	4・II	講義
2 生体工学概論	2	選択	4・II	講義
3 現代化学概論	2	選択	4・II	講義
4 水環境保全工学	2	選択	4・II	講義
5 大気保全工学	2	選択	4・II	講義
6 卒業論文	8	必修	4・II	
7 職業指導	4		4・II	

4. 最後の質問です。

- (1) 本コースでは、教育システムの改善に皆さんの声を生かすために、このアンケートを行っています。この他に、何かよいアイデアがあれば述べてください。

- (2) その他、コース全般に対するご意見等（例えば、「コース名を@@@に変更したほうがいいのでは」等）があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

教育システム改善のためのアンケート(平成27年度 春アンケート)

実施日:平成27年4月9日

対象数	3年生 36名	回答数	31名	回答率	86.1%
-----	---------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	22
就 職	4
研 究	1
大学院進学か就職	1
未 定	1
無回答	2

2-(1)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	28	1	授業数が少ないような…	2

〔「はい」の理由:自分が思い描いていた目標である〕

2-(2)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答・分からない
回答数	27	1	もう少し専門の授業を増やしてほしい	3

2-(3)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	27	1	もう少し難しくても良い	3

2-(4)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	28	—	—	3

2-(5)

(無し)

3-(1)~(4)

科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義	30	11	21	2
2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習	30	12	12	1
3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義	29	4	4	4
4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義	30	12	17	3
5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	30	15	12	2
6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	30	11	14	2
7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義	29	16	13	3
8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義	30	12	8	3
9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習	29	14	8	1
10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	29	3	6	5
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	22	2	4	5
12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義	12	8	5	-
13 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	9	3	4	-
14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習	12	5	4	-
15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義	12	4	3	3
16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験	11	5	3	-
17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	11	7	5	-
18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習	-	2	1	-
19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	9	3	1	-
20 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義	9	2	2	-
21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	9	2	3	-
22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習	2	3	1	-
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義	1	1	-	1
24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義	-	-	-	1
25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	-	-	-	1
26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義	1	1	-	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	-	-	-	1
28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	-	-	-	1
29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	25	16	11	1
30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義	24	8	7	1
31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習	25	7	6	1
32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験	24	11	8	1
33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義	24	14	6	1
34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	24	11	8	1
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義	24	7	5	3
36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義	23	6	9	1
37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義	24	11	9	1
38 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義	24	4	3	2
39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	1	2	1	1
40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	-	1	1	-
41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	-	1	1	-
42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	-	-	-	1
43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	-	1	1	-
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	-	-	-	1
45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験	-	1	1	-
46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習	1	2	1	-
47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義	-	-	-	1
48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義	-	1	1	-
49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	-	-	1
50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	-	-	1
51 職業指導	4		4・Ⅱ		-	1	1	1
52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	-	-	1
53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ		-	1	2	-
54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	1	1	-	1
55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	-	-	1

3-(5)

内 容
2年生から技術英語を学ぶ講義
英語の科目に、2年のうちから触れるべきだと思う
2年で英語の授業
経済学(2件)
資源経済学

3-(6)

件数	科目名
5件	構造力学 I
2件	熱力学演習
2件	資源循環システム実験 I
1件	資源化学 I
1件	エネルギー工学概論
4件	応用数学 II

3-(7)

件数	科目名
1件	エネルギー工学概論
3件	物理化学
5件	土の力学 I

3-(8)

件数	科目名
2件	土の力学 I

3-(9)

(無し)

4-(1)、(2)

(無し)

教育システム改善のためのアンケート(平成27年度 春アンケート)

実施日:平成27年4月9日

対象数	4年生 43名	回答数	40名	回答率	93.0%
-----	---------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	31
大学院進学か就職	2
就職	5
検討中	2

2-(1)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	36	—	—	4

〔「はい」の理由:国際系に力を入れているから〕

2-(2)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	35	1	少し楽だから	4

〔その他:でももうすこし社会的な内容があってもいいと思う〕

2-(3)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	36	—	—	4

〔「はい」の理由:ちょうどよいから〕

2-(4)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	無回答
回答数	36	—	—	4

〔「はい」の理由:いいと思うから〕

2-(5)

(無し)

3-(1)~(4)

科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義	39	24	20	3
2 応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習	39	21	18	5
3 基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義	33	7	9	12
4 地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義	39	19	17	3
5 弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	39	22	14	2
6 熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義	40	27	18	2
7 計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義	40	21	17	4
8 建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義	32	13	4	5
9 資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習	37	21	10	2
10 生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	39	10	9	5
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義	26	5	8	6
12 流体力学	2	必修	3・Ⅰ	講義	39	24	16	2
13 土の力学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	35	14	7	3
14 物理化学演習	1	必修	3・Ⅰ	演習	40	16	11	2
15 建築都市学概論	2	選択	3・Ⅰ	講義	37	9	7	5
16 資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・Ⅰ	実験	40	17	10	1
17 粉体工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	40	13	10	2
18 インターンシップ	1	選択	3・Ⅰ	実習	34	18	16	2
19 岩盤工学	2	必修	3・Ⅰ	講義	40	15	12	2
20 環境化学	2	必修	3・Ⅰ	講義	39	15	12	2
21 資源化学Ⅱ	2	選択	3・Ⅰ	講義	37	16	10	3
22 資源循環システムⅡ	1	選択	3・Ⅰ	演習	39	19	8	1
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・Ⅰ	講義	6	5	2	-
24 気象学	2	選択	4・Ⅰ	講義	5	3	3	2
25 機械工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	7	2	2	2
26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・Ⅰ	講義	6	3	3	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	7	2	1	3
28 材料工学概論	2	選択	4・Ⅰ	講義	8	3	2	3
29 構造力学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	38	20	14	2
30 応用地質学	2	必修	2・Ⅱ	講義	38	16	11	1
31 熱力学演習	1	必修	2・Ⅱ	演習	39	21	13	2
32 資源循環システム実験Ⅰ	1	必修	2・Ⅱ	実験	39	21	9	1
33 資源循環システムⅠ	2	必修	2・Ⅱ	講義	38	20	10	1
34 資源化学Ⅰ	2	必修	2・Ⅱ	講義	37	17	11	2
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・Ⅱ	講義	37	15	13	4
36 応用数学Ⅱ	2	選択	2・Ⅱ	講義	37	15	8	3
37 物理化学	2	必修	2・Ⅱ	講義	39	17	13	1
38 土の力学Ⅰ	2	選択	2・Ⅱ	講義	38	16	10	2
39 コンピューティング演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	37	16	11	4
40 流体力学演習	1	必修	3・Ⅱ	演習	38	21	12	3
41 地殻システム工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	38	17	10	1
42 微生物工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	31	9	5	2
43 地下水工学	2	必修	3・Ⅱ	講義	38	16	9	2
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・Ⅱ	講義	37	15	7	5
45 資源循環システム実験Ⅲ	1	必修	3・Ⅱ	実験	39	18	11	2
46 技術英語	1	必修	3・Ⅱ	演習	38	22	12	-
47 環境物理	2	選択	3・Ⅱ	講義	35	13	8	3
48 数値計算法	2	必修	3・Ⅱ	講義	39	16	8	4
49 環境工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	3	2	3	1
50 生体工学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	2	1	1
51 職業指導	4		4・Ⅱ		-	2	2	1
52 現代化学概論	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	2	1	1
53 卒業論文	8	必修	4・Ⅱ		-	6	4	-
54 水環境保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	4	2	-
55 大気保全工学	2	選択	4・Ⅱ	講義	-	2	2	-

3-(5)

内 容
資源経済(3件)
英語の講義を増やしてほしい
英会話
社会と資源のつながりをおしえる授業
機械工学系も必要だと考えます
科学の歴史
日本の歴史・文化史など日本人としての一般教養

3-(6)

件数	科目名
16件	流体力学演習
1件	地殻システム工学
1件	微生物工学
1件	地下水工学
5件	技術英語
6件	数値計算法

3-(7)

	科目名
10件	コンピューティング演習

3-(7)

件数	科目名
6件	微生物工学
1件	地下水工学
2件	火薬及び爆破工学
2件	技術英語
5件	環境物理

3-(8)

件数	科目名
3件	コンピューティング演習
1件	微生物工学
1件	火薬及び爆破工学
1件	環境物理

3-(9)

内 容
もう少し授業を増やしても良いのでは

4-(1)

内 容
アンケート対象を一部に絞っていい
体育
コンピューティング演習

4-(2)

内 容
現場見学を増やせないでしょうか
コースとは関係ないのかもしれないが、時間割の発表が遅すぎる
研究室のパソコンを新しくしてほしい。(Wordをひらいてもスライドするときにはフリーズする)
新歓でお酒のみたいです。冬にもっとコースで遊びたいです。

教育システム改善のためのアンケート(平成26年度卒業生アンケート)

実施日:平成27年3月25日

対象数	卒業生 37名	回答数	33名	回答率	89.2%
-----	---------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	30
就 職	2
就 職 (公務員)	1

2-(1)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	(「はい」に対する意見(理由))
回答数	33	—	—	(A)を強調される教授が多くおられ、ためになるため。

2-(2)

	はい	いいえ	いいえ(理由)	(「はい」に対する意見(理由))
回答数	33	—	—	特別大きな不満はないです。少し偏りがあるとは思いますが。

2-(3)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	33	—	—

2-(4)

	はい	いいえ	いいえ(理由)
回答数	32	1	少し、物理系に偏りすぎかと思えます。

2-(5)

もう少し化学系の科目が欲しいです。

3-(1)~(4)

科目番号・科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・ 実験の別	回答数			
					(1)	(2)	(3)	(4)
1 応用数学 I	2	必修	2・I	講義	31	10	15	4
2 応用数学演習 I	1	必修	2・I	演習	30	8	11	4
3 基礎図形科学	2	選択	2・I	講義	27	3	4	6
4 地球科学	2	必修	2・I	講義	32	14	10	3
5 弾性体の力学	2	必修	2・I	講義	31	8	8	2
6 熱力学	2	必修	2・I	講義	32	11	14	2
7 計測工学	2	必修	2・I	講義	31	9	10	1
8 建設材料	2	選択	2・I	講義	28	11	7	1
9 資源循環デザイン	1	必修	2・I	演習	31	9	11	3
10 生物工学概論	2	選択	2・I	講義	32	5	3	4
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・I	講義	16	4	4	3
12 流体力学	2	必修	3・I	講義	31	12	11	3
13 土の力学 II	2	選択	3・I	講義	29	11	8	2
14 物理化学演習	1	必修	3・I	演習	30	12	8	-
15 建築都市学概論	2	選択	3・I	講義	31	6	6	1
16 資源循環システム実験 II	1	必修	3・I	実験	32	10	9	1
17 粉体工学	2	必修	3・I	講義	32	7	8	1
18 インターンシップ	1	選択	3・I	実習	27	12	9	1
19 岩盤工学	2	必修	3・I	講義	32	8	6	2
20 環境化学	2	必修	3・I	講義	32	10	9	1
21 資源化学 II	2	選択	3・I	講義	28	10	7	1
22 資源循環システム II	1	選択	3・I	演習	31	10	12	1
23 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義	5	-	-	-
24 気象学	2	選択	4・I	講義	21	3	2	1
25 機械工学概論	2	選択	4・I	講義	13	3	2	3
26 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義	9	2	3	1
27 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義	10	2	2	2
28 材料工学概論	2	選択	4・I	講義	16	4	4	1
29 構造力学 I	2	必修	2・II	講義	31	10	9	1
30 応用地質学	2	必修	2・II	講義	32	11	9	1
31 熱力学演習	1	必修	2・II	演習	32	11	12	1
32 資源循環システム実験 I	1	必修	2・II	実験	32	11	10	1
33 資源循環システム I	2	必修	2・II	講義	31	10	10	1
34 資源化学 I	2	必修	2・II	講義	32	9	7	1
35 エネルギー工学概論	2	選択	2・II	講義	29	7	4	4
36 応用数学 II	2	選択	2・II	講義	22	5	6	-
37 物理化学	2	必修	2・II	講義	32	10	12	1
38 土の力学 I	2	選択	2・II	講義	30	8	7	1
39 コンピューティング演習	1	必修	3・II	演習	31	7	5	4
40 流体力学演習	1	必修	3・II	演習	30	10	8	3
41 地殻システム工学	2	必修	3・II	講義	32	8	7	2
42 微生物工学	2	選択	3・II	講義	26	6	6	2
43 地下水工学	2	必修	3・II	講義	31	12	9	1
44 火薬及び爆破工学	2	選択	3・II	講義	31	9	5	2
45 資源循環システム実験 III	1	必修	3・II	実験	31	9	9	1
46 技術英語	1	必修	3・II	演習	31	14	13	1
47 環境物理	2	選択	3・II	講義	30	8	8	1
48 数値計算法	2	必修	3・II	講義	29	9	5	2
49 環境工学概論	2	選択	4・II	講義	8	1	2	1
50 生体工学概論	2	選択	4・II	講義	4	1	1	2
51 職業指導	4		4・II		-	-	-	-
52 現代化学概論	2	選択	4・II	講義	5	1	2	1
53 卒業論文	8	必修	4・II		27	12	11	1
54 水環境保全工学	2	選択	4・II	講義	2	-	-	-
55 大気保全工学	2	選択	4・II	講義	2	-	-	-

3-(5)

内 容
製図:実験装置の設計を作成する際に必要だから
マクロを組むより数値計算で習ったものをコンピューターで行う練習
企業の方による講義・講演
税金とかの話
分析化学
資源経済学

3-(6)

件数	科目名
3件	現代化学概論
5件	卒業論文

3-(7)

件数	科目名
1件	卒業論文

3-(8)

(無し)

3-(9)

内 容
技術英語をもっと早い段階からはじめてほしい

4-(1)

内 容
コースでの行事をもっと増やすとより一層楽しいと思います

4-(2)

内 容
(コース名)資源工学コース